

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

西川ゴム工業株式会社 三原工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田西町小原10200番39

(3) 業種

1933 工業用ゴム製品製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年(2014)年度を基準年度とし、令和6年(2024)年度から令和10年(2028)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

<基本理念>

当社は、環境保護を経営の重要課題として位置づけ、開発・設計・購買・生産・物流・販売・廃棄までの製品のライフサイクル全段階にわたって、社は(正道、和、独創、安全)の精神で「地球にやさしい事業活動」をグループ全体で取り組みます。

<行動指針>

1. 法令遵守

環境関連の関係法規制及びその他の要求事項を遵守します。

2. 環境に配慮したモノづくり

省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物の削減、環境負荷物質(有害化学物質)の使用抑制及び汚染の予防に取組み、その継続的改善による環境保護に努めます。

3. 社内啓発活動

全従業員の環境への意識向上を図るため、環境教育を継続的に実施し、全社的な環境保全活動を推進します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成26（2014）年度	令和4（2022）年度
二酸化炭素	9,413	7,090

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス { HFC PFC SF ₆ NF ₃ }		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

高(百万円)生産高(百万円)

※、削減率（%）

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 26 (2014) 年度)			削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和 10 (2028) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 数値 (c)		排出見込 量 (e)	原単位 見込 数値 (f)	原単位 見込 数値 (g)
エネルギー起源CO ₂	9,413	4,863	1.94	13.9	9,523	5,689	1.67
非エネルギー起源CO ₂				0.0			
メタン				0.0			
一酸化二窒素				0.0			
その他 温室効果ガス				0.0			
総排出量	9,413	4,863	1.94	13.9	9,523	5,689	1.67
(原油換算kI) エネルギー 消費原単位	-	-	1.94	13.9	-	-	1.67
目標設定の考え方	会社指針の原単位削減 対前年度比2%の削減率 エネルギー起源CO ₂ 原単位ベースはそのうちの削減率 1 %/年 会社指針の原単位削減 対前年度比2%の削減率 エネルギー起源CO ₂ 原単位ベースはそのうちの削減率 1 %/年						

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	生産性改善による能率改善	電力約1.0%減	生産工程及び検査工程に改善プロジェクトを発足し定期的な改善活動を実施
2	エア漏れ修理によるコンプレッサー電力量削減	電力約0.2%減	エアリークビューアにてエア漏れチェック エア漏れ箇所是正
3	6号コンプレッサー用ドライヤー置換	電力約50%減	インバータ機に置換
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

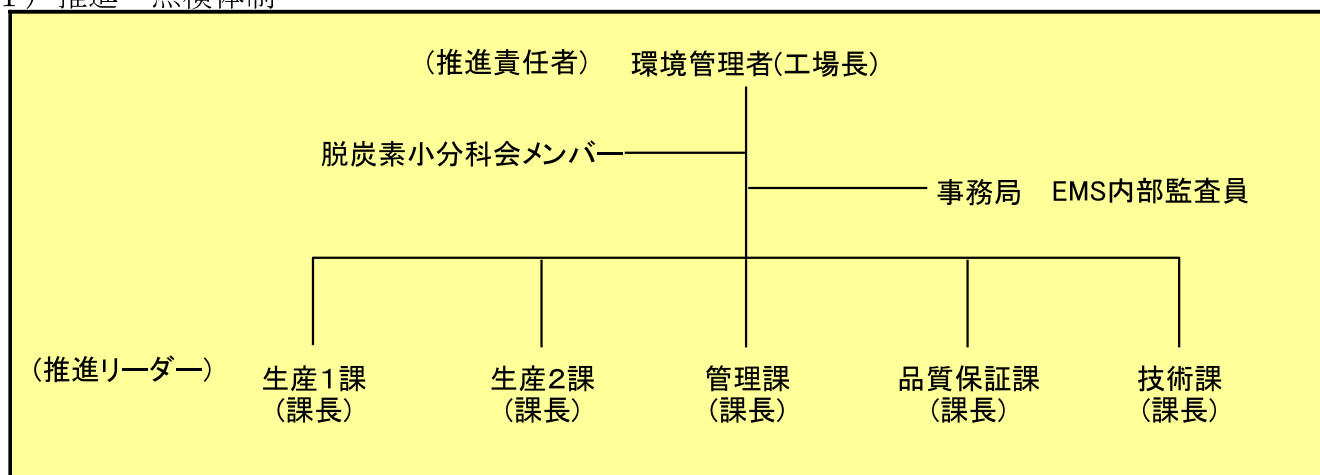
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

設備Grが温室効果ガス削減計画作成後、工場長が承認し、実施率及び進捗状況を確認を行う。

また脱炭素小分科会メンバーで情報を共有し、問題点へ対応している。

脱炭素小分科会メンバー構成: 西川ゴムの4工場、子会社の設備担当者及び生産技術部で構成

(3) 計画書等の公表

- ・事業所に備え付けて閲覧する